

2024 年度の活動方針

2024 年度事業計画

(1) 全般の取り組み

日本の GDP が世界4位に転落してしまいました。日本企業においては、改めて生産性を向上させ、競争力を向上させなくてはなりませんし、発展に向けては新事業創出の取り組みも重要です。コロナ対応も大変でしたがその間も時間は流れ、予想されていたこととはいえ、いよいよ日本の労働人口減少の影響が顕著に現れてきております。既に飲食業などを始めとするサービス業において「必要人員を確保できない」という声が聞かれておりますが、これが全産業に及んでくることは必然です。

この人手不足のトレンドに対処していくには、圧倒的に省人化されたオペレーションの実現、その上で AI も含めた IT の効果的な活用を行っていかなくてはならないと考えます。そしてこの社会環境の中で成長していく為には、サービス化の流れを捉えた企業変革であり、更に新たな成長の機会創出にも取り組んでいく必要があります。これらはたった一人のリーダーで成し遂げられるのではなく、それぞれの取り組みを進めていくリーダー達の力を合わせることで実現できるのではないのでしょうか？このような取り組みに役立つ方法論の研究と、これから求められる人材への育成こそが、今、必要とされている取り組みだと考えます。

このような状況認識を踏まえ、引き続き「Disruption への対応」をメインテーマに掲げ、『これから』について議論を戦わせることができる“場”作りをとおした、新時代を担う人材の育成、具体的対処施策についてのアイデア交換、レガシーな組織の変革に寄与してゆくべく活動してまいります。そしてまた、会員の増加、収益性の向上などのテーマを乗り越えるために、

- ・各種研究会の充実
- ・Disruption を軸とする企業や国家の新展望の議論
- ・会員増加のための企業訪問、関係団体との協業等

積極的に活動をして参ります。是非、皆様におかれましても ABC 協会の活動をサポート頂けますようお願い申し上げます。

重点施策

- 1 組織開発・人材育成、方法論の研究
- 2 協会のビジネス活動
- 3 協会の基盤強化

以下、内容をご説明いたします。

重点施策

1. 組織開発・人材育成、方法論の研究

(1) 研究会、アカデミーでの議論を通しての Disruption 対応研究への寄与

- ・Disruption にどう対応していくのか？DX をどう推進していくのか？の観点から、「これから」について活発に議論を展開していく内容としてゆきます。
- ・『圧倒的な省力化』に向けて、業務プロセス改革の研究会を発足させます。
- ・また昨年の米国研修で得られた経験から、「失敗から学ぶ」ことの重要性を検討する『リフレクション研究会』も発足させました。

(2) 協会ならではの特色あるプログラムの中より、個々の企業に合わせて提供し、DX を推進していける中心人財の育成を図っていきます

・企業向け研修

各企業の悩まれている若者とのコミュニケーションギャップ、モチベーション向上など、研究会で得た知見を踏まえ、企業に合わせた教育カリキュラムを提案していきます。

(3) デザインポートセンター構想

人材の育成について、以下の施策を継続してゆくことで中長期に渡った育成に寄与して参ります。

BtoB として研究会活動 提供
・企業家マインドの育成を目指したスクール、セミナーの

BtoC としてコラボ環境
・参加された方々とお互いの知識を高め合っていく場「トレビア・クラブハウス」の一層の活性化
・ネットを活用した、協会活動のアピール
・同じ課題を持った有識者・団体との共同研究活動
iCD 協会、学会、ITHRD、JISA、また IT ビジネス研究会など他の協会活動と協調し推進してゆきます

2. 協会のビジネス活動

(1) エグゼクティブ・ビジネス海外研修の実施

2024 年度も生成 AI の先進国である米国訪問を企画いたします。先進的な活用事例について現地ユーザ企業を訪問し、生成 AI の活用に関して共にディスカッションを行い、AI への取組方法などを調査します。

また、米国でもシステム開発ベンダーを訪れ、レガシーなシステム開発に対して生成 AI の活用を議論する予定です。

さらに、「行動をする」「失敗から学ぶ」米国の文化を体感し、それをどう自分達に取り込んでゆくのかを考えます。

(2) 事業受託 国、協会よりの調査・研究業務の受託

Disruption を乗り越えて行く上で必要となる要件など、協会の持てる知見を活か

した調査・研究の受託によりより広く協会の考えを広めていきます。

(3)企業サポート

多様な変革を行っていく中で、企業における悩み・困り事への対処を客観的な視点で、未来の目標と一緒に描いていくことをサポートしてゆくサービスを広めてゆきます。

(企業診断、目標設定、サービスデザイン、バックキャスト思考)

(4)会員交流の場の提供

昨年実施しました交流会の実施。様々な企業様同士が互いに語り情報交換できる交流会を企画、運営をいたします

3. 協会の基盤強化

会員拡大に注力してまいります

(1)ホームページ、セミナー企画を通して、ABC 協会の活動を発信し、コンタクトを得ていきます

(2)ABC 協会会員を中心としたご紹介による会員拡大を強化していきます

(3)ABC 協会の魅力、加入する価値を自ら整理し、発信してまいります